



安全安心な旭市 活気ある旭市を目指して

旭市議会議長 林 一哉

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、希望に満ちた平成23年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年中は、市民の皆さまのご理解とご協力により、各議員が自己の良識と信念に基づき議会活動に精励し、市政の発展に全力を尽くすことができましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、昨今世界的な金融危機の影響により、急激に悪化したわが国の経済は、緩やかに回復しつつありますが、物価下落が続くなどデフレ状態からは脱しておらず、個人消費の回復には、今しばらく時間が必要であります。

本市においても例外ではなく、雇用不安など、先行き不透明な経済の状況下であり、市民の皆さまの議会、行政への需要は、質、量共にますます複雑多様化し、さらにはその対応についても、スピード化が求められております。

こうした中、本市は合併後6年目を迎えたわけですが、限られた財源を有効に活用し、優先すべき課題の解決に向け、積極的に各種施策に取り組んでまいりました。

旭中央病院アクセス道路や谷丁場遊正線など、新

市の基盤を固めるための事業を着実に進めるとともに、中央小学校校舎改築事業や矢指小学校校舎改築事業、第一中学校屋内運動場改築事業など、教育施設の充実にも努めてまいりました。そして本年3月には、地域医療の中核を担う旭中央病院の新病棟が完成し、6月からは新病棟での診療が開始される見込みとなっております。

市議会といたしましては、将来を見据えたまちづくりのために、これまで議会改革などに取り組んできた経緯を生かしながら、斬新的な考えの下、民主的かつ効率的な議会運営に努めてまいります。

地方分権が推進される中で、自治体の果たす役割はますます重要になっております。私たち議員一同も市民の皆さまの負託に応えられるよう、安全・安心な旭市、活気ある旭市を目指して、一丸となって取り組んでまいりますので、本年も市議会に対しまして、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

市民の皆さまにとりまして、今年一年が健康で幸せな年でありますとともに、本市の限らない発展を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

